

處であります。現に第一乃至第十六工場は労働組合員であり、その外は全部非組合員であります。この兩者の産業人、社会人としての適否を比較、対照して見て、組合側の要求を断然拒絶する明確なる理由を有します。要するに、工員の要求提出の理由は十分なる同情を以て考察するも、殆んど全く酌むべき余地なきものであります。

更に、本社作業の實況は前陳の通りなる一面作業場に在りても、監督者の指揮命令に服せず、他所の爭議應援の爲め、在場僅かに二時間内外にして退場する者さへある等、自ら輕んずる甚しき所爲を敢てして顧みず、心あるものをして長嘆痛憤せしむる實狀であります。私共は、必ずしも、工員諸子に向つて君子人たるを望む者では御座るませんが、殆んど額に汗せずして食はんごするかに見ゆるこの態度は、断々乎として排除すべきものと信じます。去る大正十二年以來、本社の労働状態は實に斯くの如き不本意千萬なものであります。然し乍ら會社では、常に忍従して鋭意改善に努力したのであります。夫は舊醸造工場に於ける就業状況を御覽下さつた方々の夙に御了知の事と存じます。復雜にして居ります。夫は舊醸造工場に於ける就業状況を御覽下さつた方々の夙に御了知の事と存じます。

噫！かくの如くして憐れ能はずせば、何處に企業の經營を策する事が出来ませう。如何にして工場の管理を満足に行ふことが出来ませう。否々、何處に産業立國の實を求むる事が出来ませう。元來、一定の職業に従事する者は同時に一定範圍の義務を承認し、社会的義務意識を了得しなければならぬ。彼の人々は、口を開けば、社會の改良を唱へ、事業の發展は吾々の労働によつてのみ成し能ふと叫ぶ。何ぞその言ふ所と行ふ所の矛盾の甚しきや！かくの如きは、實に痴人夢を語る一般なりと評さるるも全く陳辨の餘地御座いますまい。

今や、我國は往年の大震災災に加へて、過般の經濟國難の禍難を蒙り、創夷深くして、容易に癒すべくもありません。國民は、困苦に堪え、欠乏を忍んで、和衷戮力、財界立直しと國力更張とに邁進すべきであります。然るに、工員諸子は、抑制する所なく、云ひ懸りを設けて、敢て總罷業を行ひ、途上猥りに多數の見張りを設けて、行人を誰何し自らは、當爲不得已の措置と辨ずるも、必然の結果として、當事者以外の人々に脅威を與へ、町の營業に悪影響を及ぼさしめたるのみか、國民生活必需品の供給に一大頓挫を來し、更にその市價昂騰の因を作り以て、國民生活を脅かさんごするに至つては、その所爲決して容認し難き所であります。

帝都を距る余り遠からざる北總の空は、今や一抹の妖雲漂ひ、二百年來綿々として相繼ぎ、天下一品として廣く江湖の御愛用を忝くせる龜甲萬醬油の生産、果して繼續し得るや否や、不安甚だ尠からざるものがあります。大方具眼の御聲援の下に一大奮發を以て局面を打開し、更始一新を策すべき重大危機に在ることを痛感する次第であります。

勞資間の爭議が一般社會に及ぼす影響、實に甚大なるものあるべきは考慮せぬ譯では御座るませんが、事態かくの如くでありますから、單なる經濟問題のみでなくなつて參りました。危険なる生産不適の悪思想を艾除する爲に、産業立國の本旨を毒せんとする悪傾向を剷滅するために、將亦、社會正義の確立の爲に、會社は余儀なく凜乎として應戦の決意を固めました。冀くは是れ本社工員たる爭議團員諸子をして、飄然として憐れしめ、及ぼして全龜甲萬愛用各位、株主その他直接間接御關係の方々に對し、御安心を與ふ所以にして萬己むを得ざるに出づる權宜の措置たるを諒せられ、及ぶ限りの御後援を賜はらんことを。

昭和貳年十月 日

野田醬油株式會社